

ドーピング まめちしき!

Vol.7

嶋元医院 院長 嶋元 徹

ドーピング検査を行う検査員(DCO)の経験者

どんな検査を受けるの？(その2)

今回は検体検査(一般的に多い尿検体)の方法を説明します。

実際の検査方法は JADA のホームページなどに詳しい記載がありますので、ここでは選手自身の注意点を申し上げます。(以降は http://www.realchampion.jp/process/examine_urinalysis の手順に沿って説明します)

最初に全ての行動は、自分自身(同伴者などに手伝ってもらわない(ただし障がいのあるアスリートは別))で行い、自信を持って行動してください。またシャベロン(通告者)や DCO の視線の範囲内で行動してください。隠そうとする行為や不審な行動は、検査側からすれば隠蔽行為と見なされて報告されることがあります。(特に海外では注意が必要です。)

まず、尿意が起るまで休憩室等で待機します。現在検査のための尿量は 90ml 以上必要ですので、十分尿が貯まってから検査を受けてください。尿量が足りない場合、部分検体の手続きが必要となり、選手にとっても精神的・肉体的に負担になります。普段からどれくらいの尿意でどれくらいの量を排尿できるか調べておくこともいいでしょう。また、緊張しているとなかなか排尿できません。これも普段からリラックスできる方法などを試しておく役に立ちます。十分な尿意があれば検査員等に検査開始を伝えてください。検査開始前に必ず手を洗うか指示されたウェットティッシュ等で手を清潔にしてください。汚い手で検査キットを扱い不要な物質が混入することを防ぎます。

次に、採尿カップを選びます。カップを選ぶ際は、袋の破れ、カップ・フタの破損を念入りに確認してください。まれにカップなどの破損があり検体がこぼれ、検体不足のため再検査になった事例もあります。袋の破れを確認するのは第三者が故意に薬物を混入することも防ぎます。破れを確認するには、ビニール袋を押さえ、中の空気が袋の外に漏れないかどうかで確認できます。

全て確認ができたなら DCO の指示に従って行動してください。検査室とトイレに移動の際も採尿カップ・フタは必ず DCO と自分の視野の中に収まるよう行動してください。DCO の視野から外そうとする行為は隠蔽行為と見なされ、自分の視野から外した場合は薬物を混入されるおそれがあります。また女性アスリートにたまに見かけますが、他人に自分の尿を見られたくないためにタオルやハンカチで採尿カップを覆うことがあります。このような行為も厳禁ですので注意してください。

次回は実際の採尿について説明します。